1971年12月7日（火曜日）　野次馬新聞　第1号

野次馬新聞
発行所 野次馬新聞社
野次馬軍団明大細胞機関紙
※競馬の新聞ではないのだ

学費値上げ決定！だが、その裏側は？

速報スクープ

我が野次馬新聞特捜班は、学費値上げ決定と、それにともなう重大な問題を手に入れた。学費値上げは決定したのだ。ではその理由は？「赤字なんってネェ」というのがいつもの事ならば、その理由らしい。赤字の額は2億5千万ほどあるという。もしも、「最大限努力したな……教育研究に支障をきたす場合は学費改定を考慮せざるを得ない」と経営改革委員会の答申に書いてある。（傍点筆者）読者諸君は、この文章をよく覚えておいて欲しい。果して学校側は学費値上げをしないために最大限努力しているのだろうか？それが問題だ。このたび、最大限努力しているのか、という問題につきまして、慎重に検討を重ねてまいりました結果、我が野次馬新聞社としては、「それはウソである」という結論に達したのであります。例えば「研究費」の問題。これは教授に6万円支給されて、研究活動に役立てるためのものなのだが現実はそうではない。①商学部の田中某教授の場合（彼は理事である）いくらも使のしない古本を買ってきて、それを1万円もした事にして研究費を浮かせた。②労仏法の松岡某教授の場合。北海道に空旅行へ実際は行っていない）した事にして研究費を浮かせている。③A教授の場合。ギデン屋に飲みに行く。④B教授の場合。オ酒屋に飲みに行く。⑤C教授の場合。自分のゼミのゼミ員に自分の仕事をアルバイトさせた事にして自分の懐に金を入れる。という具合である。こんな事をしつつ最大限の努力をしているとは!!「研究費」に関しては廃止しようという意見が教員の間に強いにもかかわらず、学校側は知りつつも廃止しようとしない。（理事の1人が個人的に使い込んでいる位だもんネ）読者諸君！このような財政上のムダ使いは、いくらでもあるのだ。「研究費」問題は氷山の一角にすぎない。それなのに学費値上げとは！何というフザケタ事だ。我々から高い授業料をしぼり取って、それを個人的に着服している奴がいるのだ。その黒幕は誰か？我が野次馬新聞社は、その名前を知っているが、それを発表するのは近日中に、この紙上で行いたい。それでは、さっきの問題に戻って他の部分を調べてみよう。順に書いてみると①コンピューター導入の時の汚職問題②69年明大闘争の時の学生対策費の使途をめぐる問題③裏口入学の問題と、その金を握った著名な教授連中の金もうけ主義④教授会内部（特に商学部）で動めく日共教授達の黒い本質。以下である。紙面の都合上、今回は「研究費」問題だけに終ってしまったが、次号からは我が野次馬新聞社のモットーである「ディスカバー明治」の旗のもと、読者諸君にドギツク迫っていきたい。では次号の予告……

次号予告　特集　裏口入学をめぐる著名な教授達の動向。

DISCOVER ➡ MEIJI

醜い明治大学と私 71°
（本社のモットーなのだ）